

## ファイル解説(ファイル伝送サービス)

---

### A.1. 口座振替

#### A.1.1. 預金口座振替(依頼明細)

##### (1) ファイル名

全銀協TCP/IP手順のファイル制御電文に設定する「ファイル名」について、以下に示します。  
伝送サイクルコードには送信時のサイクルを設定します。  
01～99の範囲とし、重複しなければ、飛び番、降順の設定が可能です。

ファイル名			
産業別コード	データコード	伝送サイクルコード	予備
5020	0191	XX	00

##### (2) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとします。

##### (3) レコード構成

###### A. シングルサブファイル

シングルサブファイルのレコード構成を以下に示します。

ヘッダ	データ	.....	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	-------	-----	------	-----

###### B. マルチサブファイル

マルチサブファイルのレコード構成を以下に示します。

なお、1つのマルチサブファイル内のサブファイル数の上限は99,999です。

ヘッダ	データ	データ	トレーラ	ヘッダ	データ	データ	...
...	データ	.....	データ	トレーラ	エンド		

(4) レコードフォーマット

全国銀行協会が制定するレコードフォーマットに準拠します。

A. ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	2	業務種別を表す。 「91」:預金口座振替
3	コード区分	N(1)	1	使用コードを表す。 「0」:JIS 「1」:EBCDIC
4	委託者コード	N(10)	10	銀行が定めた委託者のコードを表す。 右詰め残り前「0」
5	委託者名	C(40)	40	委託者名を表す。 左詰め残りスペース
6	引落日	N(4)	4	引落日を表す。 MMDD(月-日)
7	取引銀行番号	N(4)	4	取引銀行番号を表す。 金融機関共同コード
8	取引銀行名	C(15)	15	取引銀行名を表す。 左詰め残りスペース
9	取引支店番号	N(3)	3	取引支店番号を表す。 統一店番号
10	取引支店名	C(15)	15	取引支店名を表す。 左詰め残りスペース
11	預金種目	N(1)	1	委託者の預金種目を表す。 「1」:普通預金 「2」:当座預金 「9」:その他
12	口座番号	N(7)	7	委託者の口座番号を表す。 右詰め残り前「0」
13	ダミー	C(17)	17	ダミーエリア(初期値)

## B. データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「2」:データレコード
2	引落銀行番号	N(4)	4	引落銀行番号を表す。 金融機関共同コード
3	引落銀行名	C(15)	15	引落銀行名を表す。 左詰め残りスペース
4	引落支店番号	N(3)	3	引落支店番号を表す。 統一店番号
5	引落支店名	C(15)	15	引落支店名を表す。 左詰め残りスペース
6	ダミー	C(4)	4	ダミーエリア(初期値)
7	預金種目	N(1)	1	預金者の預金種目を表す。 「1」:普通預金 「2」:当座預金 「3」:納税準備預金 「9」:その他
8	口座番号	N(7)	7	預金者の口座番号を表す。 右詰め残り前「0」
9	預金者名	C(30)	30	預金者名を表す。 左詰め残りスペース
10	引落金額	N(10)	10	引落金額を表す。 右詰め残り前「0」
11	新規コード	N(1)	1	新規振替、変更などを表す。 「1」:第1回引落分 「2」:変更分(引落銀行・支店、口座番号) 「0」:その他
12	顧客番号	N(20)	20	委託者が定めた顧客番号を表す。 右詰め残り前「0」 (注)顧客番号以外のものを設定しない。
13	振替結果コード	N(1)	1	振替処理結果を表す。 依頼明細では「0」
14	ダミー	C(8)	8	ダミーエリア(初期値)

### C. トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	合計件数	N(6)	6	合計件数を表す。 右詰め残り前「0」
3	合計金額	N(12)	12	合計金額を表す。 右詰め残り前「0」
4	振替済件数	N(6)	6	振替済件数を表す。 依頼明細では全て「0」
5	振替済金額	N(12)	12	振替済金額を表す。 依頼明細では全て「0」
6	振替不能件数	N(6)	6	振替不能件数を表す。 依頼明細では全て「0」
7	振替不能金額	N(12)	12	振替不能金額を表す。 依頼明細では全て「0」
8	ダミー	C(65)	65	ダミーエリア(初期値)

### D. エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

(5) チェック内容

本サービスでは、預金口座振替(依頼明細)の送信中にデータの内容のチェックを行います。  
 チェックの種類と概要を以下に示します。

項番	種類	説明
1	シーケンスチェック	「データ区分」のシーケンスチェックを行います。
2	日付チェック*1	ヘッダレコード中の「引落日」が営業日であることを確認します。
		チェック対象の「引落日」が、同一ヘッダレコード中の「委託者コード」の、適用開始日と適用終了日の範囲内であることを確認します。
3	トレーラ整合性チェック	データレコード中の「引落金額」、データレコード数を加算し、トレーラレコードの「合計金額」、「合計件数」との整合性を確認します。
4	フォーマットチェック	チェック対象項目について、属性が正しいこと、定数であることを確認します。
5	委託者コードチェック	ヘッダレコード中の「委託者コード」が、伝送時のセンタ確認コード配下に存在することを確認します。
6	受付可能期間内チェック*1	ヘッダレコード中の「引落日」、及び受付時刻が、受付可能期間内であることを確認します。
7	レコード件数チェック	1依頼データ内のレコード数が金融機関センタ配信上限件数以内であることをチェックを行います。

(注)\*1 「引落日」が1月1日の場合、本チェックは実施しません。

A. シーケンスチェック

データ区分のシーケンスチェックを行います。シーケンスチェックの内容を以下に示します。

		チェック対象レコードのデータ区分			
		H*1	D	T*2	E*2
直前のレコードの データ区分	H	×	○	○	×
	D	×	○	○	×
	T	○	×	×	○
	E*3	○	×	×	×

(注1) H:ヘッダレコード、D:データレコード、T:トレーラレコード、E:エンドレコード

(注2) ○:レコードシーケンス正常、×:レコードシーケンス異常

(注)\*1 先頭レコードは必ず「ヘッダレコード」であること

(注)\*2 最終レコードは必ず「トレーラレコード」、または「エンドレコード」であること

(注)\*3 ファイルの中間にエンドレコードが作成されていても許容します

## B. トレーラ整合性チェック

サブファイル単位にトレーラレコードとの整合性チェックを行います。

### (A) 件数の整合性チェック

サブファイル中のデータレコード数がトレーラレコードの「合計件数」と一致することを確認します。

(引落金額0円の明細もデータレコード数として加算します。)

### (B) 金額の整合性チェック

サブファイル中のデータレコードの「引落金額」の合計がトレーラレコードの「合計金額」と一致することを確認します。

## C. フォーマットチェック

預金口座振替(依頼明細)のフォーマットチェックを以下に示します。

### (A) ヘッダレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	チェック内容
1	種別コード	N(2)	2	「91」:預金口座振替であること。
2	委託者コード	N(10)	10	数値であること。
3	取引銀行番号	N(4)	4	当行の金融機関コードであること。

### (B) データレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	チェック内容
1	引落金額	N(10)	10	数値であること。

### (C) トレーラレコード

項番	項目	形式/桁数	バイト長	チェック内容
1	合計件数	N(6)	6	数値であること。
2	合計金額	N(12)	12	数値であること。

## D. 受付可能期間内チェック

依頼データに設定された指定日が受付可能期間内(受付開始日～受付時限まで)であるかのチェックを行います。

## A.1.2. 照合データ(預金口座振替)

### (1) ファイル名

全銀協TCP/IP手順のファイル制御電文に設定する「ファイル名」について、以下に示します。  
伝送サイクルコードには送信時のサイクルを設定します。

01～99の範囲とし、重複しなければ、飛び番、降順の設定が可能です。

ファイル名			
産業別コード	データコード	伝送サイクルコード	予備
5020	9191	XX	00

### (2) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとします。

### (3) レコード構成

#### A. シングルサブファイル

シングルサブファイルのレコード構成を以下に示します。

ヘッダ	データ	.....	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	-------	-----	------	-----

#### B. マルチサブファイル

マルチサブファイルは許容しておりません。

#### (4) レコードフォーマット

##### A. ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	種別コード	N(2)	2	業務種別を表す。 91:預金口座振替
3	伝送日	N(8)	8	預金口座振替(依頼明細)データを伝送した日付を表す。 YYYYMMDD(年・月・日)
4	伝送サイクルコード	N(2)	2	預金口座振替(依頼明細)データを伝送した際のサイクルコードを表す。 右詰め残り前「0」
5	照合識別コード	C(6)	6	照合者が正当であるかどうかを確認するためのコードを表す。
6	取消実施区分	C(1)	1	依頼データの取消実施有無を設定する。 「スペース」:照合実施 「1」:取消実施
7	ダミー	C(100)	100	ダミーエリア(初期値)

##### B. データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「2」:データレコード
2	引落日	N(4)	4	預金口座振替(依頼明細)データの引落日を表す。 MMDD(月・日)
3	委託者コード	N(10)	10	銀行が定めた委託者のコードを表す。 右詰め残り前「0」
4	合計件数	N(6)	6	預金口座振替(依頼明細)データの合計件数を表す。 右詰め残り前「0」
5	合計金額	N(12)	12	預金口座振替(依頼明細)データの合計金額を表す。 右詰め残り前「0」
6	ダミー	C(87)	87	ダミーエリア(初期値)



### C. トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

### D. エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

(5) チェック内容

本サービスでは、照合データ(預金口座振替)の送信中にデータの内容のチェックを行います。  
チェックの種類と概要を以下に示します。

項番	種類	説明
1.	シーケンスチェック	「データ区分」のシーケンスチェックを行います。
2.	フォーマットチェック	チェック対象項目が、数値/数値またはスペース/スペース以外/定数/スペースであることのチェックを行います。

A. シーケンスチェック

データ区分のシーケンスチェックを行います。シーケンスチェックの内容を以下に示します。

		チェック対象レコードのデータ区分			
		H*1	D	T*2	E*2
直前のレコードの データ区分	H	×	○	○	×
	D	×	○	○	×
	T	×	×	×	○
	E	×	×	×	×

(注1) H:ヘッダレコード、D:データレコード、T:トレーラレコード、E:エンドレコード

(注2) ○:レコードシーケンス正常、×:レコードシーケンス異常

(注)\*1 先頭レコードは必ず「ヘッダレコード」であること

(注)\*2 最終レコードは必ず「トレーラレコード」、または「エンドレコード」であること

B. フォーマットチェック

照合データ(預金口座振替)のフォーマットチェックを行います。フォーマットチェックの内容を以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	チェック内容
1	取消実施区分	C(1)	1	「スペース」(照合実施)または「1」(取消実施)であること。

### A.1.3. 預金口座振替(処理結果明細)

#### (1) ファイル名

全銀協TCP/IP手順のファイル制御電文に設定する「ファイル名」について、以下に示します。

伝送サイクルコードには送信時のサイクルを設定します。

01～99の昇順とし、重複、飛び番の設定は出来ません。

ファイル名			
産業別コード	データコード	伝送サイクルコード	予備
5020	0191	XX	00

#### (2) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとします。

#### (3) レコード構成

##### A. シングルサブファイル

シングルサブファイルのレコード構成を以下に示します。

ヘッダ	データ	.....	データ	トレーラ	エンド
-----	-----	-------	-----	------	-----

##### B. マルチサブファイル

マルチサブファイルのレコード構成を以下に示します。

ヘッダ	データ	データ	トレーラ	ヘッダ	データ	データ	...
...	データ	.....	データ	トレーラ	エンド		

##### C. ファイルが存在しない場合

配信要求時に未配信のデータが存在しない場合、ファイル制御電文の「ファイルなし」(コード値:17)でエラー応答する。

(4) レコードフォーマット

全国銀行協会が制定するレコードフォーマットに準拠します。

A. ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1 ～ 13				「預金口座振替(依頼明細) ヘッダレコード」と同様。

B. データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1 ～ 12				「預金口座振替(依頼明細) データレコード」と同様。
13	振替結果コード	N(1)	1	振替処理を行った結果を表す。 「0」:振替済 「1」:資金不足 「2」:取引なし 「3」:預金者の都合による振替停止 「4」:預金口座振替依頼書なし 「8」:委託者の都合による振替停止 「9」:その他
14				「預金口座振替(依頼明細) データレコード」と同様。

### C. トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1 ~ 3				「預金口座振替(依頼明細) トレーラレコード」と同様。
4	振替済件数	N(6)	6	振替済件数を表す。 右詰め残り前「0」
5	振替済金額	N(12)	12	振替済金額を表す。 右詰め残り前「0」
6	振替不能件数	N(6)	6	振替不能件数を表す。 右詰め残り前「0」
7	振替不能金額	N(12)	12	振替不能金額を表す。 右詰め残り前「0」
8				「預金口座振替(依頼明細) トレーラレコード」と同様。

### D. エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1~2				「預金口座振替(依頼明細) エンドレコード」と同様。

#### A.1.4. 受付状況照会データ(預金口座振替)

##### (1) ファイル名

全銀協TCP/IP手順のファイル制御電文に設定する「ファイル名」について、以下に示します。  
 伝送サイクルコードには送信時のサイクルを設定します。  
 01～99の範囲とし、重複、飛び番、降順の設定が可能です。

ファイル名			
産業別コード	データコード	伝送サイクルコード	予備
5020	8191	XX	00

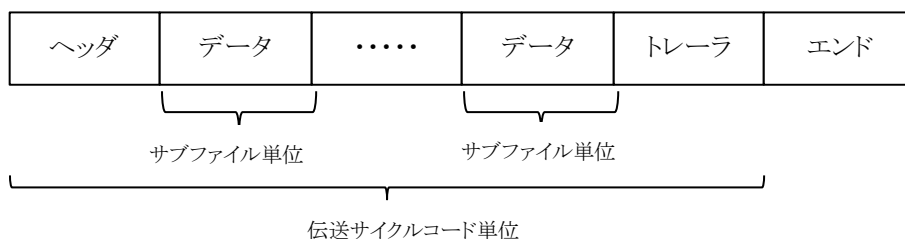
##### (2) レコード長/レコード形式

120バイト固定長レコードとします。

##### (3) レコード構成

###### A. シングルサブファイル

シングルサブファイルのレコード構成を以下に示します。



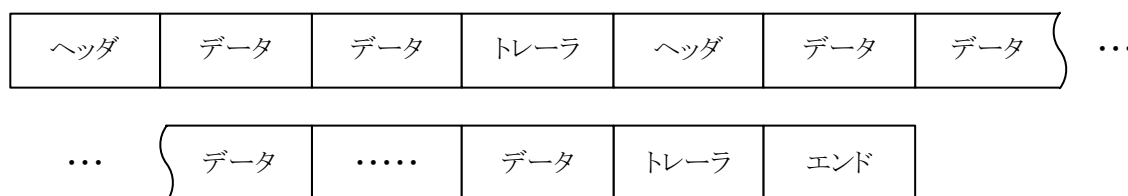
※ヘッダレコードは「依頼データの伝送日時+依頼データの伝送サイクルコード」単位に作成します。

※データレコードは伝送サイクルコード内のサブファイル単位に作成する。

###### B. マルチサブファイル

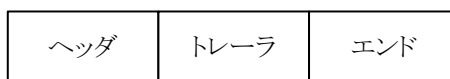
マルチサブファイルのレコード構成を以下に示します。

レコードの作成単位は前述のシングルサブファイルと同様です。



###### C. ダミーデータ

照会対象のデータが存在しない場合、ダミーデータを配信します。ダミーデータのレコード構成を以下に示します。



(4) レコードフォーマット

A. シングルサブファイル/マルチサブファイルの場合

(A) ヘッダレコード

ヘッダレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッダレコード
2	金融機関コード	N(4)	4	金融機関コードを表す。
3	加入者コード	C(14)	14	加入者コードを表す。
4	ファイル名	C(12)	12	預金口座振替(依頼明細)の全銀ファイル名を表す。 「502001910000」
5	依頼データ 伝送日時	N(12)	12	照会対象の依頼データの伝送日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)
6	依頼データ 伝送サイクル コード	N(2)	2	照会対象の依頼データの伝送サイクルコードを表す。
7	照会日時	N(12)	12	受付状況の照会日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年-月-日-時-分)
8	照会回数	N(2)	2	照会日付単位に照会回数を表す。
9	当方センタ確認 コード	C(14)	14	データセンタのセンタ確認コードを表す。
10	相手センタ確認 コード	C(14)	14	加入者センタのセンタ確認コードを表す。
11	受付状態	C(1)	1	照会対象の依頼データの受付状態を表す。 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「2」(照合不要) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ)  ※依頼データの伝送サイクルコード単位の情報

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
12	照合時限日時	N(12)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、当該伝送サイクルコードにおける依頼データの照合時限日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)</li> <li>・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)</li> <li>・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)</li> </ul> <p>※依頼データの伝送サイクルコード単位の情報          ※受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル内で最も早い照合期限を表示する。          ※受付状態が「2」(照合不要)の場合は、オール0を設定する。</p>
13	ダミー	C(20)	20	ダミーエリア(初期値)

(B) データレコード

データレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「2」:データレコード
2	サブファイル通番	N(5)	5	照会対象の依頼データのサブファイル通番を表す。
3	委託者コード	C(12)	12	委託者コードを表す。 委託者コード(10桁)+スペース(2桁)
4	引落指定日	N(4)	4	照会対象の依頼データに設定されている引落指定日を表す。 MMDD(月・日)
5	合計件数	N(6)	6	照会対象の依頼データに設定されている合計件数を表す。
6	合計金額	N(12)	12	照会対象の依頼データに設定されている合計金額を表す。
7	受付状態	C(1)	1	<p>照会対象の依頼データの受付状態を表す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・照合を行う加入者センタの場合 「0」(未照合) 「1」(照合済) 「3」(取消済) 「9」(照合時限切れ)</li> <li>・照合を行わない加入者センタの場合 「2」(照合不要)</li> </ul> <p>※依頼データのサブファイル単位の情報</p>



項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
8	照合時限日時	N(12)	12	<ul style="list-style-type: none"> <li>・直近のヘッダレコードの受付状態が「0」(未照合)または「9」(照合時限切れ)の場合、サブファイル単位の照合時限日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)</li> <li>・受付状態が「1」(照合済)の場合、照合日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)</li> <li>・受付状態が「3」(取消済)の場合、取消日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)</li> </ul> ※同一伝送サイクルコードにおけるサブファイル単位の情報 ※受付状態が「2」(照合不要)の場合は、オール0を設定する。
9	ダミー	C(67)	67	ダミーエリア(初期値)

(C)トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	データレコード 件数	N(5)	5	データレコードの件数を表す。
3	ダミー	C(114)	114	ダミーエリア(初期値)

(D)エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」:エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

B. ダミーデータの場合

(A) ヘッドレコード

ヘッドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「1」:ヘッドレコード
2	金融機関コード	N(4)	4	金融機関コードを表す。
3	加入者コード	C(14)	14	加入者コードを表す。
4	ファイル名	C(12)	12	預金口座振替(依頼明細)の全銀ファイル名を表す。 「502001910000」
5	依頼データ 伝送日時	N(12)	12	オール0
6	依頼データ 伝送サイクル コード	N(2)	2	オール0
7	照会日時	N(12)	12	受付状況の照会日時を表す。 YYYYMMDDHHMM(年・月・日・時・分)
8	照会回数	N(2)	2	照会日付単位に照会回数を表す。
9	当方センタ確認 コード	C(14)	14	データセンタのセンタ確認コードを表す。
10	相手センタ確認 コード	C(14)	14	加入者センタのセンタ確認コードを表す。
11	受付状態	C(1)	1	スペース
12	照合時限日時	N(12)	12	オール0
13	ダミー	C(20)	20	ダミーエリア(初期値)

(B) トレーラレコード

トレーラレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「8」:トレーラレコード
2	データレコード 件数	N(5)	5	データレコードの件数を表す。 ※ データレコードが存在しないためオール0
3	ダミー	C(114)	114	ダミーエリア(初期値)

(C) エンドレコード

エンドレコードのフォーマットを以下に示します。

項番	項目	形式/桁数	バイト長	内容
1	データ区分	N(1)	1	レコードの種類を表す。 「9」: エンドレコード
2	ダミー	C(119)	119	ダミーエリア(初期値)

(5) 特記事項

受付状況照会データ(預金口座振替)は、伝送サイクルコードの重複を許容し、伝送サイクルコードを意識した伝送は行わないため、同一データの再送信は行えません。